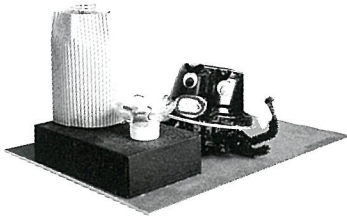




4年 藤原 里佳さん

※たこがお酒を飲んで、いい気持ちでいるところです。表情を作るのが大変でした。



『たこのよつぱらい星人』



1年 飯田 徹くん

※はじめてのなつやすみ、かぞくでうみのいえにいったことをかきましました。



『はじめてのなつやすみ』



『秋のカエル』



5年 加藤 直人くん

※工夫したのはカエルの色を赤とオレンジを混ぜて目立つようにしました。



『元気なさけ』



2年 川島 一晃くん

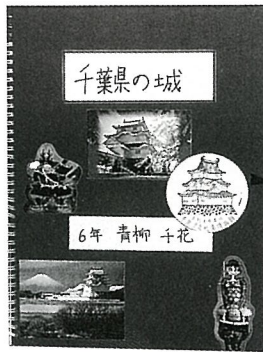
※いろ紙をちぎったり、目をくふうしたり、たのしくできました。

あつまれ みんなの力作



6年 青柳 千花さん

※集めた資料や写真を、わかりやすくまとめるのが、むすかしかった。



『千葉県の城』



3年 伊藤 さくらさん

※わたしは、ねこが大スキです。耳のリボンをかわいくデザインしました。



『ねこのおめん』



ひかり俳壇



越川せつ子(篠本) コスモスや笑顔もどりぬ術後の娘

手術に入るまでの悩みも手術が無事に済み安堵の笑顔、それは作者の心情でもある

伊藤 定男(尾垂) コスモスの一輪机上に妻の愛

五十余年という年輪を刻んだ夫婦の情愛が何気ない日常の行為の中に滲み出ている

土屋 義昭(虫生) 夕映えの山へ輪唱 秋の蝉

遠く近く鳴き出した蝉の音は夕焼けの山に向かって輪唱しているかのようである

大谷 武彦(木戸) コスモスに風のやさしき散歩道

越川 義則(二又) ドライブににぎやか家族秋桜

大木 静水(篠本) 待ち合すコスモス盛りの道の駅

短評 椎名しげる

評者吟 コスモスに手を振り曾孫ら帰り行く